

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 98ヶ所
布教所数 82ヶ所
ようほう数 2,935人
(R187年0月未現在)

新教区長・杉澤元和 就任の挨拶

福島からたすけ合いの輪を広げよう

3月26日、ご本部祭典後真柱様から福島教区長の御命をいただき、1期3年をつとめさせていただく事になりました。届かぬ者でございますが、前向きに身も心も精一杯尽くして参ります。

来年1月26日午前10時半から教祖140年祭がつとめられます。私たちはこの年祭活動三年千日をひながたの実践に励んでいる最中であり、この大切な仕上げの時に、新たな役職者にて教区活動をすすめていく事になりました。顔ぶれが変わると一見、頼りない面があるかもしれませんが、次の代へと道が続く楽しみがあり、新しい動きが出てきます。その中で、同じ地域に住むお道の信仰者が力を合わせ、心を込めて神様の御用に励ませ

ていただき、教祖のひながたを頼りに、福島からたすけ合いの輪を広げさせていただきたいと願っております。

今、おたすけの句。『諭達第4号』に「病む者にはおさづけを取り次ぎ、真にたすかる道があることを伝えよう。」とお示しいただいているように、おたすけにはおさづけの取り次ぎが大切で、一方的なものではなく、自分が身上の時は取り次いでいただく、そこにたすけ合いの姿が現れてきます。

また、福島教務支庁で執り行われていた月次祭は、長年勤められた前教区長・平澤勇一先生の誠実の現れで、それぞれが自分にできる役割を率先して果たし、心一つに勇んだおつとめの姿に親神様がお喜び下さって

いると感じます。人のたすかりと世界の幸せを祈念して、教務支庁での月次祭を今後も継続してまいります。

教祖はいつも私たちの成人のために働きくださっています。この年祭活動期間中、私たちが意識すればするほど、教祖の働きを身近に感じさせていただきます。このつとめとさづけをもっとしっかり動き、教祖140年祭当日をおお喜び教会で迎えさせていただきます。そして、その後の動きとして、年祭期間をつとめ切らせていただいた御礼を皆様と共ににおお喜び申し上げたいと存じます。

今後とも皆様方から変わらぬお力添えをいただき、教区活動が益々活発に つとめさせていただきますようお願い申し上げます。

平澤勇一・前教区長在任 7 期（平成 16 年～令和 7 年）の主な動き

1 期	平成 16 年 6 月 26 日	19 代福島教区長に就任
	平成 17 年 7 月 3 日	「福島教区ひのきしん大会」開催（735 名）
	平成 18 年 7 月 2 日	『福島教区報』創刊
2 期	平成 19 年 5 月 26 日	「福島教区おぢばの集い」実施（184 名）
	平成 19 年 10 月 2 日	『天理時報』普及手配りようばくネットワーク作り推進大会」開催（211 名）
	平成 21 年 6 月 13 日	「天理教基礎講座・福島会場」開講
3 期	平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生（地震、津波、原発事故による甚大な被害）
	平成 23 年 6 月 26 日	「福島教区復興祈願団参」実施（団参 99 名、お願いづとめ 165 名）
	平成 24 年 1～4 月	教務支庁修築工事（東日本大震災による被害箇所）
	平成 24 年 5 月 30 日	真柱様、奥様お入込のもと、「教区制度制定 110 周年記念祭」執行
4 期	平成 26 年 3 月 21 日	天理教校学園高校マーチングバンド部 被災地支援活動のために来福
	平成 26 年 11 月 30 日	『福島教区ホームページ』開設
	平成 27 年 12 月 20 日	教務支庁付属建物屋根葺替工事竣工
5	平成 30 年 4 月 2 日	表統領・中田善亮先生をお迎えし、「教区祭」執行
6 期	令和 1 年 6 月 26 日	教務支庁教職舎竣工
	令和 1 年 10 月 29 日	台風 19 号による水害で災救隊本部隊が磐城平大教会を宿営地に出動
	令和 2 年 4 月 7 日	新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」、活動休止
7 期	令和 4 年 4 月 30 日	青年会長・中山大亮様を迎え、「教区制度制定 120 周年福島教区青年会総会」開催
	令和 5 年 4 月 2 日	内統領・宮森与一郎先生をお迎えし、「教区祭」執行

前教区長・平澤勇一 退任の挨拶

平成 16 年 6 月 26 日、本部月次祭終了後、真柱様より 19 代目の福島教区長に任命されました。当時の表統領・飯降正彦先生が 45 歳の一番若い教区長ですと紹介してくれたことを覚えています。前任者の小倉與平先生には種々と教区長としてのつとめ方をご教示いただきました。

それから 7 期 21 年間、上記の年譜通り、いろいろなことがありました。とりわけ東日本大震災という未曾有の予期せぬ大節をお見せいただいたことは忘れることは出来ません。真柱様ご夫妻を始め、ご本部、そして大勢の方々に言葉に尽くせぬ救援支援を賜りました。そのおかげで復興への歩みを力強く進めさせていただくことが出来たと存じています。翌年には有難いことに真柱様御夫妻が福島教務支庁に足を運んで下さり、親心をかけてくださったことは何よりの宝物であります。

福島教区長として管内の皆様方に引き立てていただき、大勢の道の先輩方のお導きを賜り、何とか大役を果たすことが出来ました。ご本部の關係各所の先生方、並びに福島教区に繋がる皆様方のおかげと感謝しております。

長きにわたり、並々ならぬお力添えを賜り誠に有難うございました。心より厚く御礼申し上げます。

立教188年度 教区役職者・支部長紹介



教区長・杉澤元和



主事・近藤直光
祭事部長
耶麻支部長
少年会団長



主事・生江一行
教務部長



主事・梅井真治
厚生部長



主事・國分一志
会計部長
育成部長



主事・荒井弘徳
布教部長
輸送部長
災救隊隊長



書記・生江ゆう大

支部長

福島支部（福島市、伊達市、伊達郡）

安達支部（二本松市、本宮市、安達郡）

郡山支部（郡山市、白河市、須賀川市、岩瀬郡、西白河郡、東白川郡）

田村支部（田村市、田村郡、双葉郡川内村）

耶麻支部（会津若松市河東町、喜多方市、耶麻郡、河沼郡）

会津支部（会津若松市（河東町を除く）、南会津郡、大沼郡）

いわき支部（いわき市、双葉郡広野町）

相双支部（相馬市、南相馬市、双葉郡（広野町、川内村を除く）、相馬郡）

渡辺正彦（福島）

蛭原淳一（磐城代）

橋本義弘（丸守）

矢部秀樹（南春）

近藤直光（湖大成）

関本 啓（鶴賀城）

小野 修（石城）

目黒 淳（福相）

立教 188 年度 各部・各会 活動方針 及び 活動計画

布教部

【活動方針】

「神一条、よろこび一条、たすけ一条」

・教祖 140 年祭へ向かって御教えの実践に
励み、成人の歩みを進めましょう。

● ようぼく一斉活動日

・各支部ごとに開催

第 4 回 5 月 31 日、6 月 1 日

第 5 回 11 月 1 日、2 日

● 全教一斉ひのきしんデー（4 月 29 日）

・一手一つにひのきしんに励み、地域に
喜びの種をまきましょう。

● 全教一斉にをいがけデー（9 月 28、30 日）

・教会長が先頭に立ち、お道のにをいを
広めましょう。

教務支庁において、毎月 2 日の 9 時より、
神名流しとゴミ拾いのひのきしんをつとめ
させていただきます。お力添えをいただき
ますようよろしくお願い致します。



部長
荒井弘徳

婦人会

【成人目標】

「ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう」

【活動方針】

教祖 140 年祭に向かって

育つ努力、育てる丹精に徹しよう

・元なる思召を伝え広めよう

・老いも若きもおたすけの喜びを味わおう

教祖 140 年祭に向かって仕上げる年を、まず自らの
成人に努め、たすけ一条の心で、同じ思いで動いて
くださる仲間を一人でも増やすことを心がけましょ
う。
(4)

教区婦人会活動にご尽力賜りますようお願い申し
上げます。

【本年の主な活動】

4 月 19 日 天理教婦人会第 107 回総会

3 月 1 日～4 月 30 日 別席強調月間

5 月 26 日午後 1 時から午後 2 時 東講堂

みちのだいおはなし会

7 月 3 日 教区婦人会総会



主任
平澤栄美

青年会



委員長
平澤 信行

【立教188年 天理教青年会 基本方針について】

本年の基本方針は、「心を澄ます毎日を。」ほこりを減らし、誠を増やす」です。教祖140年祭に向かう三年千日の仕上げの年となる本年は、より一層「心を澄ます毎日」を意識し、教祖にお喜びいただける歩みを進めてまいりたいと存じます。

【第99回天理教青年会総会テーマ「たすかり」】

この度の総会では、一人ひとりがたすけの源泉であるおぢばにすぎり、「たすかり」を願って帰らせていただきたいです。総会へ向かう中で、基本方針「心を澄ます毎日を。」ほこりを減らし、誠を増やす」を一層深めることで、かしもの・かりものの教えを心に治め、御守護に気づき、親神様から不思議なたすかりをお見せいただけるような総会にさせていただきます。

そこで本年10月25日に開催する第99回天理教青年会総会ですが、テーマを「たすかり」と致します。多くの青年会員とたすかりを願って共におぢばに帰り集めたいと存じます。

【本年の主な活動】

6月28日～29日 青年会東北ブロック大会岩手教区

少年会



団長
近藤 直光

日頃は、少年会活動の上にご理解・お力添えを賜り誠に有難うございます。年祭活動仕上げの年を迎え、本年も親神様・教祖にお喜びいただけるよう、子供に信仰の有り難さを伝え、立派なようばくになれるよう、成人の歩みを育成会員と共に務めさせていただきますので、何卒宜しくお願い致します。

【活動方針】

『教祖のひながたを目標に教えを実践し、

子供に信仰のありがたさを伝えよう』

【重点項目】

- ・ 子供に教祖のお話をしよう
- ・ 教会おとまり会、教会こども会を実施しよう
- ・ 地域で少年会ひのきしんを実施しよう

【こどもおぢばがえり】

- 年祭活動最後の年
- ・ 一人でも多くの子供とおぢばがえりの喜びを味わおう
- ・ 全教会からの帰参を目指そう

【本年の主な活動】

- 4月2日 教祖誕生春祭り
- 7月29日～31日 少年ひのきしん隊本部練成会
- 8月18日～19日 教区お泊り会
- 11月中旬 わかぎ練成会

学生担当委員会



委員長 牛坂直之

【基本方針】

「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」
 年祭活動の最後の年度を迎え、私達のやるべき行いは、次世代に繋がる道の後継者育成に力を注ぎたい所存でございます。学生や生徒たちは物事に対し柔軟な考えを持っておりますが、その中に信仰に対する疑問や捉え方についても共に学び、私達学生担当者が手本となり、先達としてお道の教えについてしっかりと手引きさせていただけるよう心掛けて参ります。

【実践項目】

- 一、教祖のひながたを学び深め、年祭活動を学生と共に歩もう
- 一、おちばが心の拠り所となるよう学生に働きかける

【本年の主な活動】

- 8月 高校生の集い「まなびば」
- 9月中旬 道の学生ひのきしんDAY
- 3月28日 春の学生おちばがえり

基礎講座事務局



事務局 長 佐久間雄大

天理教の紹介とその教えを通して、人間本来の幸せな生き方を考える講座です。講師のお話、ビデオで、初めて天理教の教えを聞く人にも分かりやすく説明しています。

今年は教祖140年祭の年祭活動3年目の年になります。仕上げの年に向けて各支部では一段と勇んだ活動が進められます。その勢いのお手伝いができるように、左記の日程で基礎講座を開催させていただきます。なお、講師につきましては決定次第お知らせいたします。

10月18日(土) いわき支部会場 ラトブ

災害救援
ひのきしん隊

隊長 徳 荒井

天理教災害救援ひのきしん隊(災救援)は全国規模の災害救援組織です。無災害が願いですが、地震や水害等の災害が頻発する昨今、いざという時には被災地に駆けつけて、少しでも被災した方々のお役に立てるよう、真実を持って救援活動に当たります。

今後とも災救援隊の上にお力添えをいただきますようお願い致します。

厚生部

部長
梅井真治

地域における「たすけあい」の輪

教祖140年祭3年千日活動仕上げの大切な年、教祖に
お喜びいただけるよう、教えをしつかりと心に治め
させていただき、更なる成人の歩みを進めるため、
福祉活動のひのきしんを通して、地域における「た
すけあい」の輪を一層広げていきたいと思っております。
ですので、お力添えの程よろしくお願い致します。

本部開催行事

- ・EVA式陽気ぐらし子育て講座
- ・ひのきしんスクール講座

「事情だすけ」

「カウンセリング」

「家族への支援」

道友社

代表社員
関本 啓

年祭活動締めめの年、道友社は年祭活動を広報支援
します。『天理時報』の購読数は教祖様百年祭をピー
クに減少しています。また、購読者の年齢層も高齢

化しております。この現象は『天理時報』に限らず
一般の新聞も同様です。

その様な観点から、道友社は次年度もWEBに傾注
します。教友の皆様も積極的にWEBでの情報取得を
お願いします。第一に「天理時報オンライン」の有
料登録をお勧めします。『天理時報』が発行日前の金
曜日に読めます。さらに、『みちのとも』を始め、道
友社発行の書籍はほとんどが読めますし、『天理時報』
のAI読み上げの機能も便利です。また、インスタや、
フェイスブックでも発信しています。いつでもどここ
でも視聴できるWEBをご活用いただきたく思います。

注意点として、WEB環境の無いところでは閲覧
容量が消費されますのでご注意ください。

道の
教職員の集い代表世話人
齊藤元康

昨年度は活動の上に様々なご協力を頂戴し、誠にあ
りがとうございました。

今年度も「成人塾」ではこれからの道を担う次世代
の育成を目指し、「きょういく講演会」では私たちが
直面している社会課題への知見を深め、おたすけに
繋げて行きたいと考えておりますので、今後とも道
の教職員の活動へご理解とご協力をお願いします。

災救隊

「立春寒波による大雪」に対し出動

2月4日ごろから降り始めた雪は断続的に降り続き、金山町、会津若松市では観測史上1位の積雪量となった。また会津13市町村に災害救助法が適用された。

そんな中、災害救援ひのきしん隊福島教区隊（荒井弘徳隊長）は2月9日（日）、教会に到着した隊員は、参拝後、早速作業開始。当初寒いと感じていたが、すぐに汗をかくほどになり、休憩をとりながら終日ひのきしんを行った。

なお、災救隊では1月29日（水）にも、猪苗代分教会と近隣の2件の住宅で「除雪ひのきしん」を実施、18名が参加した。

さらに福島教区青年会（平澤信行委員長）でも、1月10日（金）、14日（火）に猪苗代分教会で「雪かきひのきしん」を実施、延べ7名が参加した。

婦人会

「3教区合同 女子青年例会」開催

3月2日（日）宮城教務支庁で宮城、山形、福島3教区で女子青年の合同例会が開催され、福島教区婦人会女子青年（梅井はるみ委員長）から3名が参加した。

午前中は仙臺大教会奥様より貴重なお話をいただき、梅井はるみ委員長談では、くさづちのみこと様はつなぎのご守護と教えていただいているが、今女子青年の年代は将来へのつなぎの時期なので大事に通って欲しいという話が印象に残りました。またねりあいや交流会でたくさん刺激をいただきました。同時に年祭に向けて、自分に今できることは何か、改めて考え直すきっかけになりました。」



ふるさと会

「天理大学ふるさと会総会」開催

天理大学ふるさと会福島支部（平澤勇一支部長）は3月2日

（日）、本会より金山しげ子・広報委員長を来賓に迎え、福島教務支庁にて「総会」を開催、11名が参加した。

支部長、来賓あいさつの



後、出席者が近況報告を兼ねて自己紹介をし、その後議事へと入った。まず、平澤支部長より福島支部の現況が報告され、続いて役員人事の改選が行われた。その結果、杉澤元和氏（若會）が新支部長に選任され、副支部長を梅井真司氏（大名港）、蛭原淳一氏（磐城代）、庶務（事務局）を平澤信行氏（磐城平）が務めることとなった。

その後、金山氏より、天理大学の現状報告と創立100周年記念事業の説明と寄付のお願いがあり、その場で寄付をされる方もあった。

閉会後は、懇親会の場合が設けられ、在学中の話題などで大変盛り上がった。

（Y・H）

学生会

「春の学生おぢばがえり」8名参加

3月28日の「春て横浜中華街を散策し、おの学生おぢばがえり」が向かった。

今年、東北ブロックで、福島教区話し合い、4県が津軽詰所に宿泊、おぢばでの行動を共にした。27日午後は東北

学生担当委員会（國分一志委員長）では、26日から29日にかけて団参を組み、学生4名、スタッフ4名が参加した。

26日は途中、昼食を兼ね

楽しい時間を過ごした。

28日は雨天のため東礼拝場に会場を変更して10時から式典が行われた。真柱様のメッセージ（代読）を聞かせていただき、2人の学生による「道の学生の歩み」に真剣に耳を傾けた。

午後は、それぞれに「直属アワー」に参加した。

夜には東北6県と北海道、北陸ブロックの交換会「ホクホク東北北陸」にも参加し、交流の輪を広げた。

（K・K）



立教 188 年 全教一斉ひのきしんデー

テーマ「成人の旬 一手一つにひのきしん」

～日々の実践につなげよう～

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

(3 月 31 日現在)

福島	特別老人ホームファミリーユ	4 月 29 日	9 : 30 ~ 11 : 30
安達	県立霞ヶ城公園	4 月 29 日	10 : 00 ~ 11 : 00
郡山	猪苗代湖舟津浜湖水浴場	4 月 29 日	10 : 00 ~ 11 : 00
田村	三春町町内ゴミ拾い	4 月 29 日	10 : 00 ~ 11 : 15
耶麻	熊野神社境内	4 月 29 日	10 : 00 ~ 11 : 00
	会津坂下町台ノ宮公園	4 月 29 日	10 : 00 ~ 12 : 00
	J R 猪苗代駅	4 月 29 日	10 : 00 ~ 12 : 00
	桜ヶ丘公園	4 月 29 日	9 : 30 ~ 11 : 30
会津	会津若松市少年の家	4 月 29 日	10 : 00 ~ 12 : 00
いわき	いわき市松ヶ岡公園	4 月 29 日	9 : 00 ~ 12 : 00
相双	J R 新地駅	4 月 29 日	6 : 00 ~ 7 : 00

○「ひのきしんデー」「ようぼく一斉活動日」について。詳しくは「教区・支部情報ねっと」をご覧ください。

○教祖 140 年祭へ向かう三年千日年祭活動の年にふさわしい活動となるよう、一人でも多くのご参加をお願いします。



5月31日、6月1日は『ようぼく一斉活動日』

◎福島教区管内会場◎

(3 月 31 日現在)

支部	会場	時間	会場ごとのプログラム内容
福島	福島分教会	1 日 9 : 30 ~ 11 : 30	講話
安達	安達分教会	31 日 10 : 00 ~ 12 : 00	ひのきしん・演奏会・茶話会
郡山	行理山分教会	1 日 10 : 00 ~ 13 : 00	教祖年祭を学ぶ
田村	三春分教会	1 日 10 : 00 ~ 13 : 00	おつとめまなび
耶麻	磐梯山分教会	1 日 9 : 30 ~ 12 : 00	講話・グループワーク・茶話会
会津	會津若松分教会	31 日 10 : 30 ~ 12 : 30	ひのきしん
いわき	磐城平大教会	31 日 10 : 00 ~ 12 : 00	ひのきしん、茶話会
相双	福相分教会	31 日 10 : 00 ~ 11 : 30	お道のビデオ視聴
	原町分教会	31 日 9 : 30 ~ 11 : 30	おてふり練習、茶話会

【参加対象】 ようぼく

【参加御供】 300 円